

中学高校分科会

報告者

濱崎 仁詩

参加人数 十名

3年間の学力づくり

～子供たちに教えられた大切なこと～

阿久澤 恵子

中学校を卒業した生徒にアンケートを実施した。その中で生徒たちは基礎基本を徹底的に取り組んだことを自身の学習の基盤としていた。また、アンケートや先輩の実物ノートを持ち込み、生徒に公開することで、効果的に指導されていた。ノート指導、書字指導、音読指導と小学校でも大切にされていることはやはり中学校でも大切だということが明確になった。基礎的取り組みが他教科の応用へと広がり、実力テストでも結果がでることになるということが、基礎学力づくりの重要性を実証していると言える。

家庭教育分科会

参加者 十五名
まとめ 辻本 真代美

「上賀茂家庭塾」

～親も子もつながり育ち合う場所～

上賀茂家庭塾グループ

今春、小学校を卒業した子どもたちは、小学校入学と同時に家庭塾を始めた。卒業にあたり「中学校での継続」の声が上がった。それには6年間続けてきた家庭塾の魅力がある。その魅力とは。子どもたちにとって①共に勉強する仲間と複数の大人との継続的な関係の中で、自己肯定感を持ち、自信をもってやりたいことに向き合っている場である。②そのままの自分を受け入れてもらえる安心感があり、居場所である。親にとつては、①我が子以外の子と関わることで我が子を客観視できる。②親同士が本音で話せる関係が持てる。③孤独な子育てからつながり合う子育てへと変化する。

家庭塾で身につけたもの①自ら

学ぶ意欲②家庭学習の習慣③仲間と共に学ぶ楽しさ

中学校家庭塾では、基本学習30分・各自学習30分・おしゃべりタイム30分。その他に定期テスト前勉強・テスト明けパーティー・誕生日会も行っている。

新しい学習指導要領と学校

根無 信行

小学校では18年度から移行期間。「特別の教科道徳」と英語は教科化。

「特別の教科道徳」では、「多面的なもの」とらえ方「ちがいの含め認め合うこと」から、評価のために項目の正否を問う・評価を簡易にするため簡単な評価を取ることにがおこらないか。外国語教育も英語のほが。三つの不具合①今の子どもたちに必要か。②教師にも保護者にも説明不足。③現場と離れている。